



こしま はるみ  
小島晴美

こうめいとうぎいんだん  
公明党議員団



## 交通弱者の移動手段について問う

**問** 交通弱者（買い物や病院等、日常的な移動に不自由を強いられている人）の移動手段として、利用者のニーズに応じて柔軟に運行するデマンド交通の方式を導入することで、利用者ゼロでの運行という無駄を省くことができる。さらに、ドアツードアでの利用、目的地の自由な設定など、利用者が求める生活の足を確保できるので、導入の方向で検討してはどうか。

## デマンド交通切り替えに対する議論を重ねる

**答** 現在のコミュニティバスの仕組みは、約1億5,000万円という財源の中で、約2年間、津市地域公共交通活性化協議会などでも有識者に検討してもらい決定した形であり、この形をさらに発展させることは制約が多くある。したがって、これを引き続き維持していくのか、デマンド型交通に切り替えていくのかを選択しなくてはいけない状況になってきているのではないかと考えている。移動が難しい方への交通手段をどう確保していくのか、都市計画部だけでなく健康福祉部も入れて検討しており、検討結果を市民の皆さまに問いかけ、選択をしていただくことになると考えている。

## ●その他の質疑・質問●

- 子ども医療費窓口無償化を
- ヤングケアラーの周知について、「広報津」やホームページで広報・啓発活動を
- 任意予防接種等へ公費助成を
  - 带状疱疹ワクチン予防接種の公費助成を
  - 子どものインフルエンザ予防接種助成の拡充を
  - がん治療で抗体を失った人へ再接種費用の助成を



▲子どもが子どもでいられる街に。（厚労省啓発ポスター）



ふじ た さだ ひこ  
藤田定彦

つみらい



## 地域の声・市民の声を反映した対応を

**問** 白山町垣内地内における民間事業者による産業廃棄物最終処分場については、津市自治会連合会白山支部を中心に、計画に反対する署名運動が展開され、約9,000人の署名が集まった。

市は計画の内容をどこまで把握しているのか。

また、事業者に対し市が意見を述べる機会はあるのか。

あるとすれば、どのように対応していくのか。

## 津市としてご意見・ご心配をしっかりと伝える

**答** 環境影響評価方法書によると津市白山町垣内地内の国道165号白山トンネルから東側約350mの場所に建設し、総面積約15ヘクタール、総埋め立て容量120万3,000立方メートルで、燃え殻、汚泥、がれき類、ばいじんなど17種類の産業廃棄物を埋め立て処分する計画である。

事業計画者が示した環境影響評価方法書に対する環境の保全の見地からの意見を津市として述べるができることから、住民の皆さまのご意見・ご心配をしっかりと伝えるとともに、この地域の環境、歴史を踏まえた土地利用状況に適合するのかを土地利用調整会議で検討し、考え方についても伝えていく。

## ●その他の質疑・質問●

- 白山町垣内地内における民間事業者による産業廃棄物最終処分場建設計画について
  - 事業者が必要な行政手続きは
  - 管理型産業廃棄物最終処分場とは
  - 環境への影響は
  - 農業への影響は



▲三重県が発行する環境影響評価条例の概要のパンフレット